

県域 絶滅危惧Ⅰ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧ⅠA類(CR)

綺麗な婚姻色を示し、吻端に追星が見える。オスの成魚。5月 あわら市産 全長:約8cmのオス

コイ科 タナゴ属

【全長】9cm

## ミナミアカヒシタビラ

学名: *Acheilognathus tabira jordani*

### 分布域

富山県～鳥根県の北陸山陰地方に分布する。

### 生息域

平野部の流れの緩やかな河川、湖沼・池などに生息する。



大変人気が高く採集者が多い。貴重種

体形はヤリタナゴに似る。肩部に青緑色の斑紋を有す。オスの婚姻色は背鰭・尾鰭の外縁が白色～ピンク色に色付く。体色は金属光沢を放つ青緑色で、鰓蓋～腹部がピンク色で腹部下面が黒くなる綺麗な婚姻色を示し、人気が高い。食性は雑食性で藻類や底生動物を食べる。産卵期は初夏でメスは産卵期中(1年間)に1回しか産卵管を伸ばさないとされるが疑問がある。母貝はドブガイを中心にイシガイなど中型～小型の二枚貝を好む。1回の産卵で20～50個の卵を産む。

水槽での飼育は可能。餌は配合飼料や冷凍赤虫に慣れる。産卵期のオスは縄張りを形成する。飼育するなら少数飼育をお奨めする。

在来種

純淡水魚

※ 県内では嶺北地方の平野部と大野盆地に生息し、生息地・生息数とも限られる。人気の高い種で、他府県からも本種を求めて福井に来る採取者が多い。嶺南地方では生息を確認していない。